

資料展示

群馬県文学賞の足跡を訪ねて

期間:平成21年1月14日(水)～3月22日(日) 場所:群馬県立図書館3階展示コーナー

群馬県立図書館では、県内の郷土資料の重点的な収集・保存・利用提供に努めており、資料展示として、年4回テーマを変えて、特色ある資料を幅広く紹介しています。

粉群馬県文学賞は昭和38年に創設され、今年度で第四十六回目を数えて、本県の文学活動の振興に大きな役割を果たして

きました。この資料展示では、歴代の群馬県文学賞受賞作品の一部と、その受賞者たちについて紹介します。

【展示資料について】

本展示は、群馬県文学賞とその受賞者に関する図書資料等の一端を紹介するもので、全ての資料等を網羅的に紹介するものではありません。ここに示した135点の資料は、所蔵資料の一部です。

展示資料は通常2階調査相談室の郷土資料コーナーにあり、いつでも閲覧できます。複本がある場合には、展示期間中でも貸出のできるものがあります。「*」記号の付いたものは、郷土資料ですが一冊のみ所蔵あるいは郷土雑誌のため、貸出できない資料です。また、「※」の記号の付いたものは、本企画展のために寄稿していただいた原稿類です。なお、展示されていない所蔵資料のことや展示資料の貸出等のご相談は、2階調査相談室で受け付けておりますので、お申付けください。

○群馬県文学賞について

群馬県文学賞は本県における文学振興を図るため、一年間における県民の文学各部門の創作活動のうち、特に優れたものを選奨するものです。選考委員には、群馬県文学会議が(財)群馬県教育文化事業団から委嘱され、7部門、29名が選考にあっています。文学芸術は反骨の気風が強いと言われますが、文学賞の制定には幾多の困難がありました。豊田勇が主宰する『果実』の同人の間で県文学賞設定の気運が高まり、県内文芸の各ジャンルの有志に呼びかけて群馬県文学会議が結成され、群馬県もこれを受けて県文学賞を制定する運びとなりました。昭和38年には初めての選考会議が開かれ、各部門の受賞者を決定しました。第一回目の受賞者には、短歌が秩父明水、俳句が秋元花扇および鈴木吾亦紅、詩は阿部富美子、小説は荻原博志、評論は川浦三四郎の各氏が選ばれました。

- 1 群馬県文学賞10年の歩み 県教育委員会・群馬県文学会議／編 県教育委員会 1974
- 2 群馬県文学賞の二十年 群馬県文学賞20周年記念誌 県教育委員会／ほか編 県教育委員会 1983
- 3 群馬県文学賞の三十年 県教育委員会／ほか編 県教育委員会 1993
- 4 群馬県文学賞の四十年 県教育委員会／ほか編 県教育委員会 2003
- 5 群馬県文学賞作品集 昭和38年度版ほか18冊 県教育委員会／ほか編 県教育委員会
- * 6 群馬県文学会議会報 No. 1 県教育委員会／編 県教育委員会社会教育課1963
- 7 群馬県・昭和の文学 根岸謙之助／編 みやま文庫 1994
- 8 群馬の文学 群馬県文学会議／編 煥平堂 1972

○短歌部門

- 9 青き断面 歌集 登坂喜三郎／著(第15回) 地表短歌社 2005
- 10 冬の樹が在り 歌集 内田民之／著(第24回) 現代書房新社 1993
- * 11 百号の画布 歌集 関口みさ子／著(第27回) 現代書房新社 1990
- 12 米の花 笹沢輝雄／著(第28回) 近代文芸社 1990
※森田登紀(第29回)「花菰」自筆原稿
- * 13 雪晴れ 歌集 砂長節子／著(第34回) 砂長治男 1996
※板谷愛子(第39回)「香炉」自筆原稿
- * 14 残されし部屋 深沢巴歌集 深沢巴／著(第40回) 黄花発行所 2004
- * 15 上州路 月刊郷土文化誌 2005年2月号(第42回・木戸繁太郎) あさを社 2005
- * 16 地表 短歌雑誌 2004年7月号(第43回・佐藤正子) 地表短歌社 2004
- 17 月昇りくる 歌集 諸田洋子／著(第44回) 新生孔版 2005
- * 18 草炎 平成18年12月号(第45回・湯浅茂子) 草炎社 2006

○俳句部門

- * 19 めかるみ 月刊俳句誌 昭和38年初冬号(第1回・鈴木吾亦紅) めかるみ俳句会 1963
- * 20 石人 俳句雑誌 昭和43年11月号(第7回・土屋秀穂) 石人俳句会 1968

- * 2 1 やまびこ 俳句雑誌 昭和56年5月号(第19回・松本夜詩夫) やまびこ俳句会 1981
- * 2 2 あさを 俳句雑誌 1984年2月号(第22回・関口ふさの) あさを発行所 1984
- * 2 3 あさを 俳句雑誌 昭和60年4月号(第23回・高橋洋一) あさを発行所 1985
- * 2 4 上州路 月刊郷土文化誌 1988年12月号(第26回・高橋由枝) あさを社 1988
- * 2 5 上州路 月刊郷土文化誌 1990年1月号(第27回・塚越秋琴) あさを社 1990
- 2 6 守拙 句集 斎藤東風人/著(第28回) 北溟社 2004
- * 2 7 円心 句集 岸彩/著(第31回) 本阿弥書店 2007
- * 2 8 冬虹 句集 ましお湖/著(第33回) 本阿弥書店 1995
- * 2 9 上州路 月刊郷土文化誌 1998年1月号(第35回・飯島房江) あさを社 1998
- * 3 0 妻の座 句集 石井紅楓/著(第38回) 文学の森 2005
- * 3 1 やまびこ 俳句雑誌 2003年5月号(第41回・黒岩喜洋) やまびこ俳句会 2003
- * 3 2 やまびこ 俳句雑誌 2004年11月(第42回・野島美津子) やまびこ俳句会 2004
- * 3 3 麻苧 俳句雑誌 2004年9月号(第43回・酒井英美) 麻苧発行所 2004
- * 3 4 やまびこ 俳句雑誌 2006年1月号(第44回・吉岡好江) やまびこ俳句会 2006
- * 3 5 やまびこ 俳句雑誌 2007年3月号(第45回・定方英作) やまびこ俳句会 2007

○詩部門

- ※長谷川安衛(第2回)「はしる」自筆原稿
- * 3 6 夢の中の土地 詩集 野口武久/著(第3回) 野口武久 1965
- 3 7 草のなか 柴田茂詩集 柴田茂/著(第9回) 日本文芸出版社 1973
- 3 8 真昼 詩集 篠木健/著(第11回) 篠木健 1972
- 3 9 石けんを買いました 詩集 提美代/著(第14回) ワニ・プロダクション 1979
- 4 0 水のない川 島田千鶴詩集 島田千鶴/著(第19回) 詩学社 1981
- 4 1 朝のコーラージュ 詩集 早川聡/著(第26回) 崑崙社 1989
- 4 2 触れないままに 詩集 平方秀夫/著(第28回) 紙鷲社 2001
- * 4 3 明かりをともし樹 角田弘子詩集 角田弘子/著(第34回) あさを社 1996
- 4 4 水甕 詩集 石綿清子/著(第35回) あさを社 1997
- * 4 5 上州路 月刊郷土文化誌 2005年1月号(第42回・須田芳枝) あさを社 2005
- * 4 6 上州路 月刊郷土文化誌 2006年1月号(第43回・堀江泰壽) あさを社 2006
- 4 7 一對の器 詩集 神保武子/著(第44回) 裳の会 2006
- * 4 8 花時計 詩集 武井幸子/著(第45回) 群馬県詩人会議 2007

○小説部門

- 4 9 地芝風土記 斎藤正道遺稿集 斎藤正道/著(第2回) 加部進/編 芸術友の会 1971
- 5 0 咲く花の小説 大墳保衛/著(第18回) あさを社 1979
- 5 1 月明りの路 桐渡紀一郎/著(第20回) 近代文芸社 1983
- * 5 2 上州路 月刊郷土文化誌 2007年9月号(第13回・石川光) あさを社 2007
- ※石川光(第13回)「さようならH・Sさん」自筆原稿
冊子「思いでつづり」(ぐんま自分史の会)
- 5 3 みぞれ 信沢貢作品集 信沢貢/著(第21回) あさを社 1983
- 5 4 禁断の実 五月史/著(第27回) アリガ&プリズマ 1990
- 5 5 ハルモニ(おばあちゃん)は宇宙人? 中村欽一/作(第30回) 西山三郎/絵岩崎書店 1994
- 5 6 風の追分 冬木格/著(第36回) 日本図書刊行会 1998
- * 5 7 椽 Tsurubami No. 2(第41回・三澤章子) 椽同人会 2002
- 5 8 はめ殺しの窓 人間存在の根本に問いかける 雪竹靖衛/著(第43回) 上毛新聞社出版局 2006
- * 5 9 クレーン 27号(第44回・わだしんいちろう) 前橋文学伝習所事務局 2006
- * 6 0 猿 第60号(第45回・宮崎実) 猿同人会 2007

○評論部門

- 6 1 伊香保の嶺呂 万葉集上野国歌 根岸謙之助/著(第5回) 群馬文化の会 1966
- 6 2 山村暮鳥研究 和田義昭/著(第6回) 豊島書房 1968
- * 6 3 群馬短歌史 上毛歌人の系列 第1・2部 内田紀満/著(第7回) 新日本歌人協会 1968
- 6 4 吉野秀雄論 その性の聖なるもの 川島泰一/著(第8回) 現代書房新社 1978
- 6 5 微光あまねし 詩と人間の心の根源を求めて 山本がゆう/著(第13回) やまびこ俳句会 1980
- * 6 6 北村透谷論 天空への渴望 黒古一夫/著(第14回) 冬樹社 1979
- ※黒古一夫(第14回)「『視向』の頃」(群馬県文学賞に寄せて)自筆原稿
- 6 7 石原和三郎と明治唱歌抄 大槻三好/著(第16回) 講談社 1977
- * 6 8 三島由紀夫の精神分析 北垣隆一/著(第20回) 北沢図書出版 1982
- 6 9 村上鬼城の研究 中里昌之/著(第19回) 明治書院 1981
- * 7 0 文学と科学はいかにして融合しうるか 嘉悦勲/著(第21回) 宣恒社 1983
- 7 1 田山花袋以前 程原健/著(第25回) 大葩堂書店 1986
- 7 2 船長の行方 青春の現代俳句 林桂評論集 林桂/著(第26回) 書肆麒麟 1988

- 73 鬼城と俳画 徳田次郎／著（第28回） 若竹吟社 1990
 74 近代文学の一側面 中村潔／著（第30回） 中村潔 1991
 75 絵画と色彩と晶子の歌 私の与謝野晶子 持谷靖子／著（第35回） につけん教育出版社
 1996
 *76 島田利夫試論 松本悦治／著（第39回） あかしあ書房 2001
 *77 詩を噛む 愛敬浩一／著（第40回） 詩学社 2002
 78 日露戦争と群馬県民 前沢哲也／著（第42回） 煥乎堂 2004
 79 六月の風・十七歳の文学誌 私の近代文学ノート 吉永哲郎／著（第44回） 至誠堂 2006

○随筆部門

- *80 朝の音 酒井大岳随筆集 酒井大岳／著（第2回） 六月社 1964
 *81 生活の壁 片山梨枝／著（第3回） 第二書房 1965
 82 草津の墓碑銘 ある軍属の物語 河東三郎／著（第5回） 新読書社 1967
 83 土と嵐とペン 志村弘之／著（第8回） 群馬芸術文化協会 1970
 84 すりばち学校の24年 山の分校よさようなら 山田修／著（第10回） あすなる書房 1975
 85 自然と生活 小野周水／著（第11回） あさを社 1974
 86 華胥の夢 過去と現在と未来との対話 阿部初枝／著（第14回） 栄光出版社 1975
 87 しょっぺえなし 北満の果てに 須田シマ／著（第15回） 1977
 88 棚下雑記 関口克巳／著（第16回） 朝日印刷 1977
 89 武尊嶺に漂う青春 女啄木「江口きち」の伝記 草原三郎／著（第17回） 草原会 1979
 90 愛、深き淵より。 星野富弘／著（第19回） 立風書房 1981
 91 魔境ニューギニア最前線 津布久寅治／著（第20回） 叢文社 1982
 92 ニワトリの足 閑人閑話 横田真吾／著（第21回） 現代書房新社 1983
 *93 上州路 月刊郷土文化誌 1984年11月号（第22回・飯塚洋子）あさを社 1984
 94 多野藤岡地方「贗博物誌」 日野由一／著（第23回・金井昭）日野由一 1984
 95 老梅花 藤井菊枝／著（第25回） 乙骨書店 1986
 96 死刑囚からの恋歌 山崎百合子／著（第27回） 草思社 1989
 97 白い勲章 随筆集 金井徳夫／著（第28回） 金井徳夫 1990
 98 点字と共に 金夏目／著（第29回） 皓星社 1990
 99 異文化の接点 ドイツへの知的好奇心の所在 小林喬／著（第30回） 三修社 1992
 ※小林喬（第30回）「異文化の接点～ドイツへの知的好奇心の所在」自筆原稿
 100 あんちゃんの思い出つづれ 細谷實／著（第31回） 細谷實 1992
 101 亡き猫、チー君をしのびて 横川国雄／著（第32回） 横川国雄 1993
 102 ひとりしずか 江原満／著（第33回） 江原満 1994
 103 山川 木暮珣子随筆集 木暮珣子／著（第35回） 現代書房新社 1997
 104 花の装い風のうた あらい・まさはる／著（第36回） 教育報道社 1998
 105 四季の糸 三木良／著（第37回） 西毛文学 1999
 106 国語を守る者 作家論とエッセイ 嶋村忠夫／著（第39回） 上毛新聞社出版局 2000
 107 汚れなき選手たち はせちゅう／著（第40回） あさを社 2002
 *108 妻がアルツハイマーになった 介護と追憶の日々 佐藤幸四郎／著（第41回） 朝日新聞出版
 サービス 2003
 *109 風荒き中を ハンセン病療養所で送った青春 沢田 五郎／著（第42回） 皓星社 2003
 110 碾子山物語 満蒙開拓の真実と義勇隊豊栄訓練所隊員の回想 荻野節夫／著（第43回） 荻
 野節夫 2004
 111 トゥーフアーザー ほんとうの気持ち、届けます 渋谷 弘子／著（第44回） 文芸社 200

○児童文学部門

- *112 消えたカナリア 久保田昭三（第7回）・金田和枝・北村けんじ／著 毎日新聞社 1968
 113 ひばりの子 若林群司／著（第13回） 若林群司 1998
 *114 ゆきちゃん 佃千恵／著（第16回） 鹿目佳代子／絵 佃千恵 1978
 *115 なきむし魔女先生 浅川じゃん／作（第17回）小野かおる／絵 講談社 1979
 116 白滝姫物語 桐生織姫伝説 松崎寛／文と絵（第21回） 桐生信用金庫 1982
 *117 チェンマイのシンデレラ 童話 門倉まさる／著（第24回） 上毛新聞社出版局 1987
 *118 モレの行く道は遠かった 飯島厚伯／著（第30回） あさを社 1997
 *119 ばらぐみのタアちゃん 丹羽はる子／作（第31回） 長野ヒデ子／絵 1992
 120 利子の自転車ものがたり 仲利保子／著（第32回） 煥乎堂 1993
 *121 おっちょこがちゃんひとり旅 片山 貞一／著（第35回） 日本図書刊行会 1997
 122 海ポータル 前原幸太郎／著（第36回） 上毛新聞社出版局 1999
 123 いずみ童謡集 みんなの歌 ふるさとっていいもんだ 五十嵐いずみ／詩と文（第41回）
 五十嵐悦子／編集 丘光世／影絵 本の泉社 2002
 *124 虹 2005年5月号（第43回・飯島和子）日本児童文学者協会群馬支部虹の会 2005
 125 声を出して詠む新しい童謡モバイル 小淵賢一／著（第44回） 上毛新聞社出版局 2005
 *126 虹 2006年11月号（第45回・山田葉子）日本児童文学者協会群馬支部虹の会 2006

○今年度（第46回）群馬県文学賞受賞者紹介

平成20年度の受賞者は昨年10月31日に発表され、評論を除く6部門の受賞者が決定しました。6部門を合わせた応募者は209人、応募作品数は2,871点に上りました。今年度は児童文学部門で

宮下木花さん（藤岡市）が13歳での最年少受賞となるなど、話題性の多い年となりました。

各部門の受賞者と受賞作は以下の通りです。

- ・短歌部門 井上あやめ（吉井町） 受賞作品「多胡の嶺」
 - * 127 草炎 平成20年2月号 草炎社 2008
 - * 128 ほとけの座 歌集 井上あやめ／著 あさを社 2000

- ・俳句部門 栗田津耶子（館林市） 受賞作品「晩年」
 - * 129 むかるみ 月刊俳句誌 2007年7月号 むかるみ俳句会 2007

- ・詩部門 宇佐美俊子（甘楽町） 受賞作品「蕎麦の花、猫缶、夏の日、手ぬぐい、声」
 - * 130 裳 Mosuso 2008年2月号 裳の会／編 裳の会 2008
 - 131 風になる日 宇佐美俊子詩集 宇佐美俊子／著 花書院 2000

- ・小説部門 箕田 政男（前橋市） 受賞作品「湯桧曾」
 - * 132 ちょぼくれ 2008年6月 群馬文学集団 2008

- ・随筆部門 竹田 朋子（中之条町） 受賞作品「風の吹く道」
 - 133 風の吹く道 竹田 朋子／著 日本随筆家協会 2007

- ・児童文学部門 宮下 木花（藤岡市） 受賞作品「宮下木花12歳童話集『いちばん大切な願いごと』」
 - * 134 ひとしずくのなみだ 宮下木花11歳童話集 宮下 木花／作・絵 銀の鈴社 2006
 - * 135 いちばん大切な願いごと 宮下木花12歳童話集 宮下 木花／作・絵 銀の鈴社 2007